

弊社でのセキュリティに関する取組みを下記に記載致します。

### ■IC レベルでの取組み

◎認証 IC 等の Security IC の書込み

◎MCU 書込み時の Read Protect, Write Protect, Security 機能の設定等の対応

◎ARM Cortex-M TrustZone 系 MCU の書込み

### ■工場レベルでの取組み

◎Secure Factory

○工場レベルでの Secure な Firmware の流通経路を担保

○お客様 Firmware は暗号化された状態で、弊社お客様専用 NAS(Network Attached Storage)へ保存

○自動書込機のバーコードリーダーに、バーコードをかざすと、暗号化されたお客様 Firmware は NAS から自動書込み機にロードされ、その後、複合されメモリにロードされる

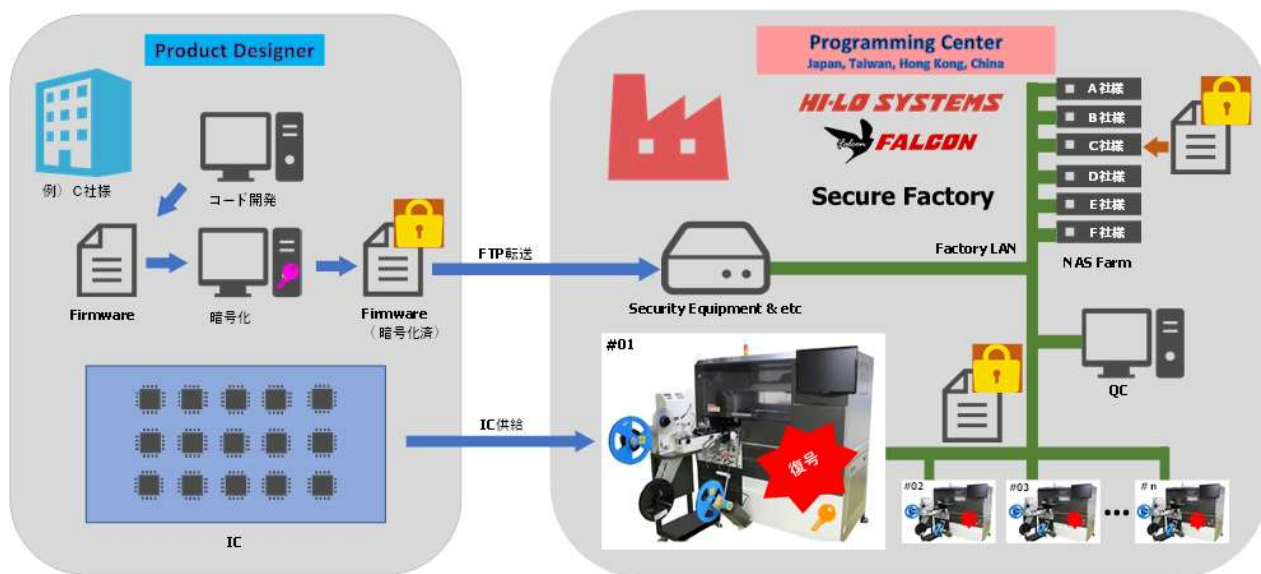


図 1, Secure Factory

■IC&工場レベルでの取組み

◎Secure Auto Programming System

○IC&工場レベルでの Secure な Firmware の流通経路を担保

社内開発、OEM,ODM にかかわらず、開発段階から書込みまで、Firmware の暗号化を徹底して行う。

これにより、Firmware 等の知的財産の盗難、流出を徹底的に防止する。

○IC の書込み個数の管理

指定された生産数（IC 書込数）を絶対的な値として、外部生産委託先での生産数を徹底的に管理する。

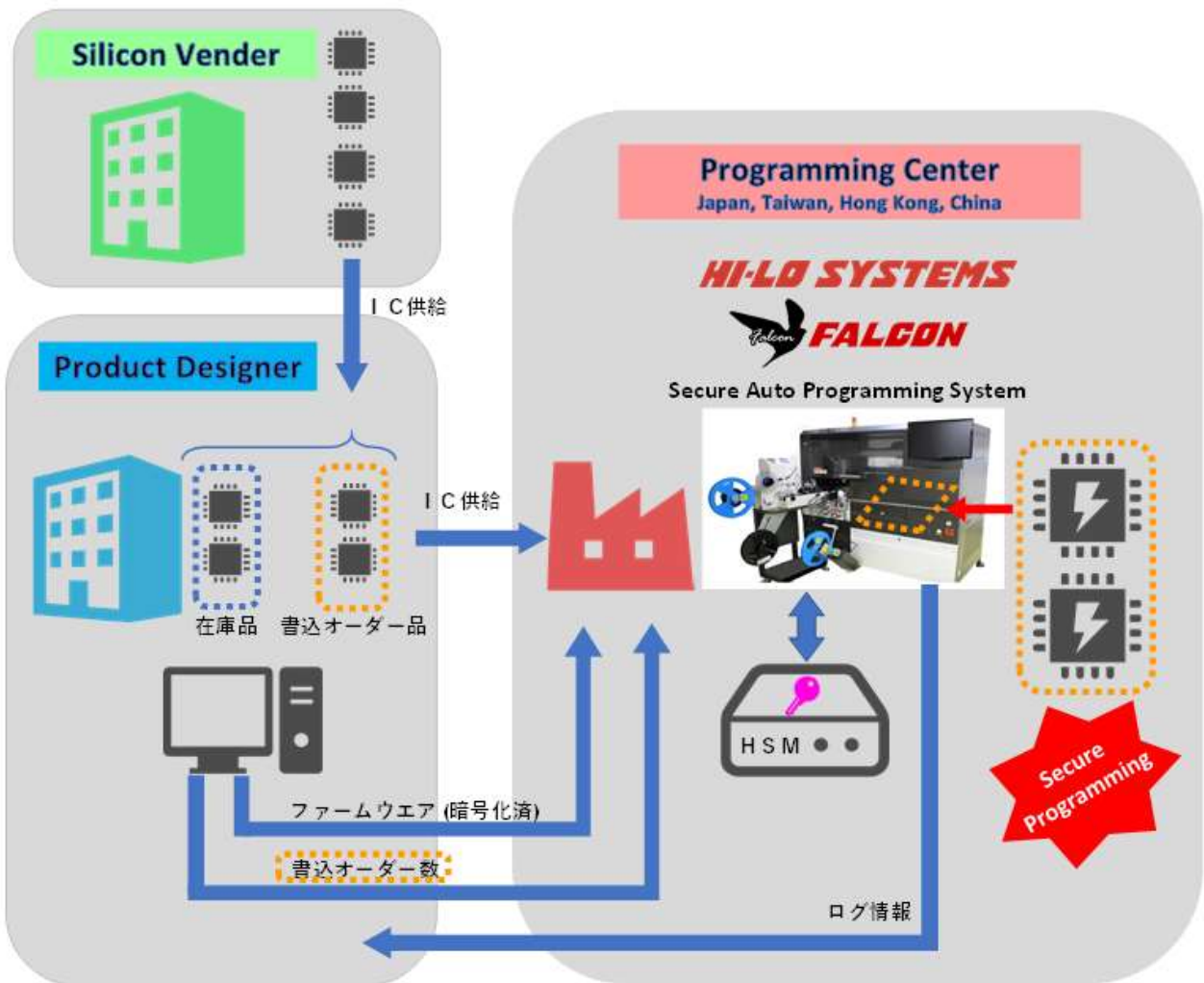


図 2. Secure Auto Programming System